

平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ジャストプランニング

コード番号 4287

URL <http://www.justweb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 崇宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐久間 宏

(TEL) 03-3730-1041

四半期報告書提出予定日 平成24年6月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第1四半期の連結業績 (平成24年2月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	408	7.4	110	10.0	110	10.3	64	27.1
24年1月期第1四半期	380	△13.3	100	△23.4	100	△24.3	50	△34.2

(注) 包括利益 25年1月期第1四半期 54百万円 (△87.1%) 24年1月期第1四半期 425百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第1四半期	1,353.80	—
24年1月期第1四半期	1,044.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
25年1月期第1四半期	2,634		2,249		84.5		46,567.79	
24年1月期	2,641		2,281		85.5		47,225.61	

(参考) 自己資本 25年1月期第1四半期 2,227百万円 24年1月期 2,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年1月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1,800.00	円 銭 1,800.00
25年1月期	—	—	—	—	—
25年1月期(予想)	0.00	—	—	1,800.00	1,800.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想 (平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	720	△6.4	207	0.5	207	0.1	112	0.4	2,341.92
通期	1,600	3.7	460	9.0	460	7.3	248	6.8	5,185.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年1月期 1Q	60,903株	24年1月期	60,903株
② 期末自己株式数	25年1月期 1Q	13,079株	24年1月期	13,079株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年1月期 1Q	47,824株	24年1月期 1Q	48,752株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 繼続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(4) 繼続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などによる持ち直しの動きは見られたものの、円高トレンドの定着や原油価格の高止まりなどが継続し、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。情報サービス産業ならびに当社が対面する外食産業におきましても、雇用不安やデフレの影響などにより依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、ASPによるアウトソーシング事業とインターネットを活用したシステムソリューション事業に取り組み、外食産業のみならず、理容/美容チェーン向け業務管理システム「Be☆UP」や新業態への売上管理・勤怠管理・発注管理等のASPシステムの展開をしております。

当第1四半期連結累計期間は、店舗の設備投資の増加、ASPサービス「まかせてネット」の実績稼動店舗数が拡大した結果、売上高408,319千円（前年同四半期比7.4%増）、営業利益110,799千円（同10.0%増）、経常利益110,940千円（同10.3%増）、四半期純利益64,744千円（同27.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(ASP事業)

当社グループにおけるASP事業は平成11年8月より外食業界向けに「まかせてネット」というサービス名で、サービスを展開しております。外食店舗におけるPOSシステム、勤怠管理システム、発注システム等の情報を、当社ASPセンターで受信し、各企業データシステムへと展開して、売上管理・勤怠管理・発注管理等の本部システムを稼動させ、外食本部からは、インターネット経由で当社ASPセンターにアクセスすることにより本部システムを利用することができるようになっております。当第1四半期連結累計期間は、外食産業のみならず、理容/美容チェーン向け業務管理システム「Be☆UP」や新業態への売上管理・勤怠管理・発注管理等のASPシステムの展開をしております。当第1四半期連結累計期間のASP事業の売上は207,268千円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益は171,260千円（同5.9%増）となりました。

(システムソリューション事業)

当社グループでは、平成6年3月の設立以来、外食業界向けの店舗システム及び本部システム(POSシステム、出退勤システム、食材発注システム)等の業務システム構築全般にソフトウェアの企画・開発・販売を行ってまいりました。システムソリューション事業の業務内容は、外食業界の業務システムにおけるソフトウェア受託開発、POSシステム導入におけるシステム設定作業やシステム運用・業務コンサルティングやそれに伴うハードウェア導入、当社POSシステムユーザーに対する消耗品販売等を行っているPOSシステムソリューションから構成されております。当第1四半期連結累計期間のシステムソリューション事業の売上は48,338千円（同122.5%増）、セグメント利益は10,281千円（同50.9%増）となりました。

(物流ソリューション事業)

当社グループでは、外食チェーン企業等に対する物流ソリューション（3PL：サードパーティロジスティクス=企業の流通機能全般を一括して請け負う）やマーチャンダイズソリューション（コンサルティング、コーディネイト）、本部業務代行（伝票処理、受発注代行、商品管理）等のソリューションサービス事業を展開しております。当第1四半期連結累計期間の物流ソリューション事業の売上は145,610千円（同6.1%減）、セグメント利益は20,069千円（同18.8%減）となりました。

(その他事業)

当社グループでは、平成21年8月より、直営の外食店舗を社員により営業を行っております。社員による運営により、店舗運営ノウハウの社員研修、情報システム開発、新システムのテストマーケティング等に活用しております。当第1四半期連結累計期間のその他事業の売上は7,103千円（同28.4%増）、セグメント利益は1,786千円（同78.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて7,667千円減少し、2,634,115千円となりました。主な増減は、現金及び預金の減少61,151千円、売掛金の増加54,173千円、投資有価証券の減少15,730千円などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて23,569千円減少し、384,219千円となりました。主な増減は、買掛金の増加14,369千円、未払法人税等の減少22,587千円などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて31,237千円減少し、2,249,896千円となりました。

主な増減は、利益剰余金の減少21,338千円、有価証券評価差額の減少10,120千円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内外の景気動向につきましては、金融市場の先行きが不透明な状況にあることや、個人消費の低迷などにより引き続き厳しい市況が続くものと思われます。当社グループでは、景気の先行き不透明感による厳しい経営環境を踏まえて、経営資源の効率化と業務の合理化を図ってまいります。また、新業態へのASPシステムの展開を強化し、多様化するマーケットの要請に対して柔軟に対応できる体制を確立することにより、営業力・システム競争力の強化を図り、利益体質の一層の改善につなげてまいります。

平成25年1月期の業績予想につきましては、平成24年3月19日付の決算短信に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,615,261	1,554,110
売掛金	173,157	227,331
たな卸資産	1,964	1,761
その他	29,299	29,340
貸倒引当金	△23,548	△27,097
流動資産合計	1,796,135	1,785,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,623	17,176
その他（純額）	25,172	45,041
有形固定資産合計	42,796	62,218
無形固定資産	30,582	31,174
投資その他の資産		
投資有価証券	730,932	715,202
その他	44,838	43,469
貸倒引当金	△3,502	△3,394
投資その他の資産合計	772,267	755,277
固定資産合計	845,647	848,669
資産合計	2,641,782	2,634,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	89,663	104,032
未払法人税等	70,509	47,922
賞与引当金	900	3,600
その他	38,769	73,468
流動負債合計	199,842	229,023
固定負債		
資産除去債務	5,831	5,866
繰延税金負債	154,974	149,329
固定負債合計	160,806	155,195
負債合計	360,649	384,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,299	381,299
資本剰余金	239,032	239,032
利益剰余金	2,341,110	2,319,771
自己株式	△1,028,776	△1,028,776
株主資本合計	1,932,666	1,911,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325,850	315,730
その他の包括利益累計額合計	325,850	315,730
少数株主持分	22,616	22,838
純資産合計	2,281,133	2,249,896
負債純資産合計	2,641,782	2,634,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)
売上高	380,288	408,319
売上原価	185,992	204,921
売上総利益	194,296	203,397
販売費及び一般管理費	93,608	92,597
営業利益	100,688	110,799
営業外収益		
受取家賃	250	120
受取利息	69	72
営業外収益合計	319	192
営業外費用		
支払利息	—	27
投資有価証券評価損	39	5
支払手数料	388	—
雑損失	—	18
営業外費用合計	427	51
経常利益	100,579	110,940
特別損失		
投資有価証券評価損	8,722	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,116	—
特別損失合計	11,838	—
税金等調整前四半期純利益	88,741	110,940
法人税、住民税及び事業税	37,576	47,175
法人税等調整額	△787	△1,201
法人税等合計	36,788	45,974
少数株主損益調整前四半期純利益	51,952	64,966
少数株主利益	1,017	222
四半期純利益	50,934	64,744

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	51,952	64,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	373,463	△10,120
その他の包括利益合計	373,463	△10,120
四半期包括利益	425,415	54,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	424,398	54,623
少数株主に係る四半期包括利益	1,017	222

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ASP事業	システムソリューション事業	物流ソリューション事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	197,891	21,726	155,140	5,530	380,288	—	380,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,559	—	1,491	—	9,050	△9,050	—
計	205,450	21,726	156,631	5,530	389,339	△9,050	380,288
セグメント利益 (売上総利益)	161,769	6,815	24,710	1,001	194,296	—	194,296

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ASP事業	システムソリューション事業	物流ソリューション事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	207,268	48,338	145,610	7,103	408,319	—	408,319
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,674	—	1,460	—	8,135	△8,135	—
計	213,942	48,338	147,070	7,103	416,454	△8,135	408,319
セグメント利益 (売上総利益)	171,260	10,281	20,069	1,786	203,397	—	203,397

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。